

「『おでかけ定期券』ってなんだろう？」

学習のねらい

市が発行している「おでかけ定期券」の目的を調べる活動を通して、バス交通がお年寄りにも使いやすく整備されていることに気付く。

学習の価値

子どもたちは、日常生活の中で、公共交通機関を利用して出かける経験はあまりない。そのため、地域の公共交通の働きや様々なサービスについて、そのよさを実感したり、考えたりしたことはほとんどない。そこで、この学習では、富山市が65歳以上のお年寄り向けに発行している「おでかけ定期券」を取り上げ、そのサービスや目的について調べる。この活動を通して子どもたちは、富山市のバス交通がお年寄りにも使いやすく整備されているという福祉的な目的に気付くとともに、中心市街地に人が集まることで、交通機関や中心市街地がにぎわうという交通政策の考え方に触れることができる。

対象学年

小学校第4学年

教科・領域等

総合的な学習の時間

時間数

2時間

準備物

ワークシート、提示用資料スライド、プロジェクタ、スクリーン

授業概要

- 1 時間目 おでかけ定期券について知る。
課題についてキッズパンフで調べ学習を行う。
- 2 時間目 調べたことを紹介し合う。
課題について話し合い、おでかけ定期券についての理解を深める。

その他

以下のような授業展開も考えられます。

- ・ 1 時間目と2 時間目の間に、実際の乗車体験やバスの見学などの体験学習を入れる。
- ・ 2 時間目に、富山市交通政策課などからゲストティーチャーを迎え、「おでかけ定期券」の目的についての話を直接聞く。

授業の展開(1 時間目)

(1) ねらい

「おでかけ定期券」について知り、課題について「キッズパンフ」をもとに調べること
で、バス交通がお年寄りにも使いやすく整備されていることに気付く。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点
7 分	1 おでかけ定期券の概要を知る。 ■発問 (パンフのおでかけ定期券を示し) これは何ですか。 ・ おでかけ定期券 ■発問 中に何が書いてありますか。 ・ 有効期限 ・ 発行 富山市 ・ えこまいか 等 ■発問 おでかけ定期券ってどんな定期券なのでしょう。 ・ 65才以上が使う券だ。 ・ 100円でいろんなところに行ける。 ・ バスや電車などいろんな交通機関で使える。 ・ 使える時間が決まっている。	・ 最初の2つの発問は、定期券や有効期限などの言葉の補足説明をする程度で軽く扱う。 ・ パンフレットの1ページを読み、おでかけ定期券の概要を押さえる。 ・ 「高齢者だけ」「運賃が安い」ことなどについて、「なぜだろう」と投げかけ、学習課題につなげる。
30 分	■学習課題 何のために「おでかけ定期券」があるのだろう 2 おでかけ定期券について調べる。 ■指示 何のために「おでかけ定期券」があるのか、パンフレットを使って、調べましょう。 ・ パンフレットの2、3ページを読みながら、ワークシートの問題1～4までについて調べて記入する。 ・ 調べたことについて、答え合わせをしたり、考えを出し合ったりする。	・ 調べる活動は、パンフレットを見ながら一人学習で調べる、一斉指導を交えながらワークシートの問題を一つずつ確かめるなど、児童の実態に合わせて行う。 ・ 資料の見方を必要に応じて教える。(1%の意味、グラフの見方など) ・ ワークシートの以下の点については、グループや全体で話し合い、課題に対する考えを深める。 1 (3) 出かけるときに車が使えない人 2 (2) バスを使うと便利なところ 3 (2) おでかけ定期券の便利なところ
8 分	3 課題についての自分の考えをまとめる。 ■指示 ここまで調べたことを基に、何のために「おでかけ定期券」があるのか、自分の考えをワークシートに書きましょう。 ・ たくさんの人にバスに乗ってもらったら、お金がもうかるから。 ・ お年寄りが病院や中心市街地に車がなくても行けるようにするため。 ・ 自由に車を使えないお年寄りが、安いお金で中心市街地まで行くことができるために。 ・ お年寄りを出かけやすくして、喜んでもらうため。 ・ お年寄りが中心市街地に集まるようにして、町をにぎやかにするため。 等	・ 自分の考えがもてない子には高齢者の吹き出しを読ませて手がかりにさせる。 ・ 3の調べる学習に時間をかけたい場合は、この部分は次時の最初に行ってもよい。

授業の展開（2時間目）

(1) ねらい

「おでかけ定期券」の役割について調べたことをもとに話し合うことを通して、富山市の福祉や交通政策の考え方についての理解を深める。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分 (10分)	1 本時のめあてを確かめる。 ■学習課題 何のために「おでかけ定期券」があるのだろう	- ワークシートの5に書いた内容を読み返して、自分の考えを確認させる。 - 前時、ワークシートの5を書かなかった場合は、ここで時間をとって書かせる。
25分 (20分)	2 1時間目に各自が調べたことをもとに話し合う。 ■指示 何のために「おでかけ定期券」があるのでしょうか。自分の考えを発表しましょう。 【お金をもうけるため】 - たくさんの人にバスに乗ってもらったら、お金がもうかるから。 【お年寄りのため】 - お年寄りが病院や中心市街地に車がなくても行けるようにするため。 - 自由に車を使えないお年寄りが、安いお金で中心市街地まで行くことができるために。 - お年寄りがどんどん中心市街地に出かけて行って、元気になってもらうため。 - お年寄りを出かけやすくして、喜んでもらうため。 【町をよくするため】 - お年寄りが元気になれば町も元気になるから。 - お年寄りが中心市街地に集まるようにして、町をにぎやかにするため。	- 子どもたちの考えを次の観点で類型化して、板書する。 ① 利益増加の観点から 【お金をもうけるため】 ② 福祉の観点から 【お年寄りのため】 ③ 街づくりの観点から 【町をよくするため】
7分	3 おでかけ定期券が路面電車にも用途が広がられていることに気付く。 ■指示 パンフレットの後ろのページを見ましょう。説明を読みましょう。 ■説明 このように、おでかけ定期券は、バスだけでなく、路面電車、地鉄電車でも使うことができます。ますます便利ですね。 4 おでかけ定期券についての行政側のねらいを知る。 ■指示 富山市交通政策課職員の話を読みましょう。 ■説明 おでかけ定期券は、お年寄りに元気になってもらいたいということと、利用する人が多くなることで、どんどん町がにぎやかに、元気になるという2つのことを願って作られました。	パンフレット4ページの資料から、バスだけではなく、様々な交通機関も利用できるようにして利便性を高めていることをおさえる。
8分	5 おでかけ定期券についての感想をワークシートにまとめる。 - おでかけ定期券がお年寄りのこと、町の未来のことを考えて作られていることがよく分かった。 - 家に帰ったら、おじいちゃんにすすめたい。 - 市街地だけでなくいろいろなところで使えたらいいな。	ワークシートの「考えたこと」では、「おでかけ定期券のために自分にできること」「こうだったらもっと使いやすい」などの観点で書かせる。